



東灘 北川レポート



<http://www.e-album.co.jp/kitagawa/>
平成17年新春号 Vol.7

神戸市議会議員
北川みちお

◆検 証◆

公明党の実績

『2005年度予算政府案』について

公明党は、本年も「大衆とともに」の精神を貫き、「庶民のための政治」に全力で取り組んでまいります。

災害対策・安心・安全なまちづくり

安心・安全なまちづくりがさらに充実します。災害対策として、床上浸水や土砂災害への対策に、それぞれ今年度より7%、10%増の予算が計上されました。また、水害、土砂災害対策を地方が進めやすくするために、新たに729億円の予算を計上しています。さらに、年度の途中でも機敏に災害再発防止に対応できるように、200億円の災害対策緊急事業推進費が新たに盛り込まれています。

テロ対策・振り込め詐欺

テロ対策として、警察の専門部隊が新設されたほか、空き交番ゼロを目指して、2005年度も3500人の警察が増員されます。さらに、振り込め詐欺や、暴力団、来日外国人らによる組織犯罪対策費用も計上されています。

子育て支援

子育て支援もさらに充実しました。奨学金事業には、1378億円が計上され、その貸与人員はついに100万人を突破します。保育所の待機児童ゼロを目指して、2005年度も受け入れ児童数は約5万人増やします。延長保育や緊急・一時保育の受け皿も増やします。

文化芸術立国の実現

文化芸術立国の実現に向けて、文化庁予算は三年連続で1000億以上確保。とりわけ、公明党が強く主張してきた「文化芸術創造プラン」には、04年度よりも約1.2億円増額され舞台芸術や新進芸術家の育成に当てられます。

北川みちお 活動日誌



◎新潟地震・台風23号被災者救援募金

2004/10/30(土)

JR元町駅で市民の会街頭募金を公明党議員団もお手伝いしました。夕方あいにくの雨にもかかわらず、大変多くの方々からご協力いただきました。ありがとうございました。

◎引き続き救援募金

2004/10/31(木)

昨日に引き続き、市民の会救援募金に公明党東灘支部としても協力し、JR住吉駅北側と南側で募金活動を行いました。大変多くの方からご協力をいただき、ありがとうございました。

皆様からの真心のご支援は必ず現地の被災者にお届けいたします。



◎産業振興局審査

2004/12/02(木)

市会の決算審査で私は、次の6点について、産業振興局長に質問しました。

- ①映画やアニメ、ゲームソフト、フィルムコミッションなどのコンテンツビジネスの支援
- ②フルーツフラワーパークと農業公園の機能統合による根本対策
- ③ファッション美術館の経営対策
- ④イノシシの捕獲
- ⑤医療産業都市構想における土地利用者企業誘致の促進
- ⑥事務事業外部評価



医療産業が神戸に来るメリットやインセンティブをもっとPRする必要があるということや、いのしし対策は餌付けできなくなるまで、捕獲していくよう特に要望しました。

◎神戸文化創生都市宣言セレモニー

2004/12/04 (土)

神戸の魅力をもう一度見つめなおし、次世代に、世界に神戸の文化を発信し、世界の文化と交流し、神戸の文化を創生するという宣言の発表セレモニーがありました。

市役所の1Fで、神戸大使の真野響子さんが宣言、小曾根実スペシャルトリオによるジャズ演奏や歌もあり、神戸らしいセレモニーでした。

市役所1Fロビーのジャズコンサートはなかなかのものでした。



◎建設局審査

2004/12/07 (火)

市会の決算局別審査で建設局長に対し、次の点を質問しました。

- ①台風などによる土砂災害、河川の防災対策に万全の対策をとること
- ②地域で管理できない公園の市の維持管理について
- ③不法屋外広告物の撤去について
- ④オープンカフェによる道路活用の推進
- ⑤街路樹が外灯や信号の邪魔になっていないかの総点検

地球温暖化の影響もあり、集中豪雨など災害はいつやってくるかわからないので災害に強いまちづくりを急ぐように特に要望しました。



◎東灘芦屋大橋開通式

2004/12/18 (土)

深江浜と南芦屋浜を結ぶ県道大橋が10年かけて完成し、開通式が行われました。折しも震災10年を前にかかった橋が神戸と芦屋をつなぎ、希望の架け橋の象徴になるように、人の交流、物の交流が促進され街が活性化するようにしていかなければならないと思いました。

◎夜警

2004/12/27 (月)

地元の本山西ふれまち協議会の皆さんと、東灘警察の方々と共に、野寄公園から岡本駅まで往復、夜警で初めて歩かせていただきました。東灘警察作成の防犯のちらし配りもさせていただきました。東灘警察の方々3名もはいついていただけるとは、非常にこころ強いことです。



C型肝炎ウイルス検査の受診を フィブリノゲン製剤の納入先医療機関名を公表 放置すると慢性化することが



C型肝炎は、C型肝炎ウイルスの感染により、肝臓の働きが悪くなる病気です。感染する、体がだるくなり、食欲不振や嘔吐、黄疸などの症状がでます。しかし、自覚症状がほとんどない状態が続くことが多く、放置すると慢性化し、肝硬変、肝臓がんに進行する場合があります。感染が分かれば早期に治療を受けることが大切です。C型肝炎ウイルスは、主に血液を介して感染し、一緒に食事や仕事をするなどの日常生活で感染することはありません。

◆フィブリノゲン製剤による感染も

また、平成6年以前に使用された「フィブリノゲン製剤」により、感染する事例が報告されています。平成16年12月に厚生労働省は、「フィブリノゲン製剤」の納入先医療機関名を公表しました。これらの、医療機関で大量出血を伴う出産や手術をした人は、C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。

市は、これらの人を対象に無料で血液検査を実施します。
C型肝炎検査を受けたことのない人は、一度は検査を受けましょう。



◆お問い合わせは、予防衛生課・地域保健課（※各区健康福祉課へ）

■予防衛生課

電話 …… 078-232-7587
F A X …… 078-261-1410

または

■地域衛生課

電話 …… 078-332-6515
F A X …… 078-332-6053

「フィブリノゲン製剤」の納入先*医療機関名公表に伴う無料検査

◆対象者=次の条件を満たす人

- ①市内在住
- ②平成6年以前に公表対象医療機関で出産や手術などの際にフィブリノゲン製剤を使用した可能性がある。
- ③その後C型肝炎検査を一度も受けたことがない

◆実施日・場所=3月末までに各区で実施する血液検査日

※公表対象医療機関名はホームページ

(<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/18/menu03/h/hoken/index.htm>)

をご覧くださいか予防衛生課（電話078-232-7587）へ問い合わせを。

※上記に対象以外は、有料（1,280円）になります。

◆住民基本健診での肝炎検査

◆対象者=住民基本健診（有料1,000円）受診者で、本年度に40.45.50.55.60.65.70歳になる市民は肝炎検査を併せて実施。無料

◆場所=各地域

